

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	春の生き物	生き物のすがた	6 ～ 8	・野外観察での注意事項を知り、校庭や学校の周りで、生き物を探して、記録する。 ・見つけた生き物のすがたを比べ、似ている所や違う所を見つけて発表し合い、春に見られる生き物のすがたについて調べる問題を見いだす。	2	・春の生き物を探す活動に進んで取り組み、友達と協力していろいろな生物を探し、記録しようとしているかを評価する。 ・見つけた生き物について気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、生き物のすがたについて問題を見いだし、表現しているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記述分析	・なかよくならうね 小さなともだち(生活科1年) ・めざせ 生きものはかせ(生活科2年)	・あたたかくなると(小4) ・いろいろな生物とその共通点(中1)
			9 ～ 11	・校庭や学校の周りで、生き物を、色、形、大きさなどに着目しながら観察して、記録する。	1	・生き物のすがたについて、虫眼鏡を正しく扱いながら観察し、色、形、大きさなどの特徴を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			12 13	・観察したことを発表し合い、生き物の特徴ごとに仲間分けをする。 ・生き物は、それぞれ、色、形、大きさなどのすがたが違うことをまとめる。	2	・生物の姿について、観察した結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・生き物は、色、形、大きさなど、すがたに違いがあることを理解しているかを評価する。	○	○		行動観察 発言 記述分析		
	たねまき 植物を育てよう	たねをまこう	14 ～ 17	・いろいろな植物の種と花、実の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、植物の育ち方について調べる問題を見いだす。	1	・いろいろな植物の種と花、実の写真を見ながら気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、植物の育ち方について問題を見いだし、表現しているかを評価する。		○		行動観察 発言 記述分析	・きれいにさいてね わたしのはな(生活科1年)	・植物の発芽と成長(小5) ・いろいろな生物とその共通点(中1)
			18 ～ 21	・子葉と子葉の後に出来る葉を観察して記録カードに記録する。 ・種子が発芽すると子葉が出て、そのあとに葉が出てくることをまとめる。 ・さまざまな植物の芽生えの様子を見て、似ている所を探す。	2	・植物の育ち方には、種から芽が出るという一定の順序があることを理解しているかを評価する。 ・植物を育てる活動に進んで取り組み、友達と協力して水やりなどを行ったり、観察結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを確認する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
		テ単 ス元 ト末		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
5			22 ～ 24	・モンシロチョウがキャベツ畑と花畑に飛んできている資料写真を見比べて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、モンシロチョウの卵からの育ち方について問題を見いだす。	1	・モンシロチョウの資料写真を見る中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、モンシロチョウの卵からの育ち方について問題を見いだし、表現しているかを評価する。		○		行動観察 記述分析	・なかよくならうね 小さなともだち(生活科1年) ・めざせ 生きものはかせ(生活科2年)	・生き物どうしのかかわり(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2) ・生命の連続性(中3)

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	チョウのかんさつ	チョウの育ち方	25～29	・モンシロチョウの卵や幼虫の飼い方を知り、育てる。 ・卵や幼虫、蛹、蛹から出てきた成虫の様子を観察して、記録カードに記録する。	3	・モンシロチョウの卵や幼虫、蛹、蛹から出てきた成虫について、虫眼鏡を正しく扱いながら観察し、色、形、大きさなどの特徴を分かりやすく記録しているかを評価する。 ・モンシロチョウを育てる活動に進んで取り組み、卵から成虫までの育ち方について、友達と互いに観察結果などを伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			30	・チョウの卵から成虫までの成長変化について記録を整理する。	1	・これまでの記録を基に、チョウの育ち方について考察し、表現しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		成虫のつくりからの単元まとめ	31～35	・チョウの成虫の体のつくりを調べる。 ・チョウの育ち方と体のつくりについて、学んだことをまとめる。	1	・チョウの育ち方や成虫の体のつくりについて理解しているかを評価する。	○	○		発言 記述分析		
				・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
6	2 5 ど れ ぐ ら い 育 っ た か な く 植 物 を 育 て よ う	植物の育ち方	36～38	・育てている植物の様子を観察して、記録カードに記録する。 ・植物の育ち方についてまとめる。	1	・育てている植物を観察し、葉の色や形、大きさ、数、植物の高さなどの特徴を分かりやすく記録しているかを確認する。 ・植物の育ち方には、子葉が出た後、葉が出て茂り、成長するという一定の順序があることを理解しているかを確認する。	○			行動観察 記録分析	・きせつととなかよし(生活科1年)	・植物のからだのはたらき(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2)
		植物のつくりから	39～41	・植物の苗を観察して体のつくりを調べ、記録する。	1	・植物の体は、どれも、根、茎及び葉からできていることを理解しているかを評価する。	○			行動観察 発言 記述分析		
6・7		風のはたらき	42～44	・車を動かしてみ、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、風の働きについて調べる問題を見いだす。	1	・風で動く車を走らせる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、風の働きについて問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析	・作ってためて(生活科2年)	・ふりこのきまり(小5) ・てこのはたらきとしくみ(小6) ・運動とエネルギー(中3)
			44～45	・問題を解決するための実験の方法を考える。 ・車に当てる風の強さを覚えて、車の動き方の違いを調べる。	1	・送風機などを正しく扱いながら、車に当てる風の強さを覚えて車の動き方を調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。	○			行動観察 記録分析		
			46	・風の働きについて考え、風の強さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。	1	・風には物を動かす働きがあり、その大きさは、風が強くなるほど大きくなることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	風やゴムのはたらき	ゴムのはたらき	47 48	・車を動かしてみて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、ゴムの働きについて調べる問題を見いだす。	1	・ゴムで動く車を走らせる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、ゴムの働きについて問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			48 49	・ゴムの伸ばし方によって物の動き方がどのように変わるか予想する。 ・問題を解決するための実験の方法を考える。 ・ゴムの伸ばし方を変えて、車の動き方の違いを調べる。	2	・ゴムの働きを調べる活動に進んで取り組み、友達と互いに予想を伝え合ったり、協力して実験を行ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・ゴムを伸ばす長さを変えて、車の動き方を定量的に調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			50 ～ 53	・ゴムの働きについて考え、ゴムを伸ばす長さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。 ・ゴールインゲームを行い、ゴムを伸ばす長さを調節して、車を狙った所に止める。	2	・ゴールインゲームに進んで取り組み、ゴムの働きについて学んだことを生かして、車を狙った所に止めようとしているかを評価する。 ・風やゴムには物を動かす働きがあり、その大きさは、風が強くなるほど、また、ゴムを伸ばすほど、大きくなることを理解しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
		単元 スト 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
7	花がさいたよう 3 植物を育		54 ～ 57	・育ててきた植物の花が咲いた様子を観察して、記録カードに記録する。 ・観察記録を基に、これまでの植物の成長の様子をまとめる。	2	・これまでの記録を基に、種から芽が出て花が咲くまでの育ち方について考察し、表現しているかを評価する。 ・植物の育ち方には、茎が伸びて葉が茂り、やがて花が咲くという一定の順序があることを理解しているかを確認する。	○	○		行動観察 発言 記録分析	・きせつととなかよし (生活科1年)	・植物のからだのはたらき(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2)
		学 ス 期 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
9	実ができたよう 4 植物を育て		60 ～ 63	・育てている植物の花が咲いた後の、実ができて様子を観察して、記録カードに記録する。	1	・育ててきた植物を観察し、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 発言 記録分析	・きせつととなかよし (生活科1年)	・花から実へ(小5) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2)
			64 ～ 67	・植物の成長の様子について分かったことや考えたことを発表し合う。 ・植物の育ち方についてまとめる。	1	・これまでの記録を基に、植物の育ち方について考察し、表現しているかを評価する。 ・植物の育ち方には、一定の順序があることを理解しているかを評価する。	○	○		発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9・10		こん虫などのすみか	68～72	・昆虫などの動物が見つかる場所について考え、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、昆虫のすみかについて調べる問題を見いだす。 ・昆虫などの動物を探して、どんな場所をすみかにしているか調べ、昆虫などの動物とそれらのすみかとの関係についてまとめる。	2	・昆虫などの動物が見つかる場所について考える中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、昆虫などの動物のすみかについて問題を見だし、表現しているかを評価する。 ・昆虫などの動物のすみかを調べる活動に進んで取り組み、友達と互いに観察結果などを伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・動物は、植物を食べたり、すみかにしたりするなどして、その周辺環境と関わって生きていることを理解している	○	○	○	行動観察 発言 記録分析	・なかよくならうね 小さなともだち(生活科1年) ・めざせ 生きものはかせ(生活科2年)	・生き物どうしのかかわり(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2) ・生命の連続性(中3)
			73 74	・トンボやバッタなどの体のつくりを調べ、チョウの体のつくりと比べながら、昆虫の体のつくりをまとめる。	1	・昆虫の体のつくりについて、観察した結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・昆虫の成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解しているかを評価する。	○	○		行動観察 発言 記録分析		
			75～81	・幼虫から育ててきたトンボやバッタとカブトムシやチョウの育ち方を比べるなどして、昆虫の育ち方を調べる。 ・不完全変態の昆虫の育ち方をチョウ(完全変態)の育ち方と比べて昆虫の育ち方をまとめる。 ・昆虫などの動物のすみかや昆虫の体のつくり、昆虫の育ち方について、学んだことをまとめる。	2	・昆虫を育てながらこれまでに学んだことを生かして、昆虫の育ち方を振り返り、成長のきまりについて考えようとしているかを評価する。 ・トンボやバッタ、カブトムシの育ち方についてのこれまでの記録を基に、チョウの育ち方との違いについて考察し、表現しているかを評価する。 ・昆虫には、卵→幼虫→蛹→成虫の順に育つものと、卵→幼虫→成虫の順に育つものがあることを理解しているかを評価する。	○	○	○	行動観察 発言 記録分析		
		単 ス元 ト末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
10			82～84	・影つなぎをして、影について気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、太陽と影について調べる問題を見いだす。	1	・影つなぎを行う中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、太陽と影について問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		・月や星の見え方(小4) ・月の形と太陽(小6) ・地球と宇宙(中3)
			84 85	・太陽の向きと影の向きとの関係を調べる。 ・太陽の向きと影の向きとの関係についてまとめる。	1	・日陰は太陽を遮るとできることを理解しているかを評価する。	○			行動観察 発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	太陽とかけ く太陽を調べよう1	太陽とかけのようす	86	・午前と午後の影の資料写真を見て、影の向きについて気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、太陽の位置と影の向きについて調べる問題を見いだす。	1	・午前と午後の影の向きについて気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、太陽の位置と影の向きについて問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		行動観察 発言 記録分析		
			87	・太陽の向きと影の向きを午前、正午頃、午後の3回調べる。	2	・太陽の位置と影の向きを調べる活動に進んで取り組み、友達と互いに観察結果などを伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・太陽の位置と影の向きについて、方位磁針や遮光プレートなどを正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			88 89	・太陽の位置と影の向きの変わり方についてまとめる。	1	・太陽の位置と影の向きの変わり方について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
		日なたと日かげの地面	90	・日なたと日陰の地面に手を当てるなどして、それぞれの様子の違いについて気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、日なたと日陰の地面のあたたかさの違いについて調べる問題を見いだす。	1	・日なたと日陰の地面の様子を調べる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、日なたと日陰の地面の暖かさについて問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			91 ～ 95	・日なたと日陰の地面の温度を測って、記録する。 ・日なたと日陰の地面の温度の違いをまとめ、地面は日光によってあたためられることをまとめる。	2	・日なたと日陰の地面の様子について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることを理解しているかを評価する。	○	○		発言 記録分析		
		単 元 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
11		はね返した日光	96 ～ 98	・鏡を使って日光をはね返し、日陰にある的に当ててみる活動を通して、問題を見いだす。	1	・鏡を使って日光をはね返す活動を行う中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、はね返した日光について問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析	・太陽とかけ(小3)	・天気の変化(小5) ・身近な物理現象(中1)
			99 100	・はね返した日光が当たった所の明るさやはね返した日光の進み方についてまとめる。	1	・鏡ではね返した日光は、まっすぐに進むことを理解しているかを確認する。	○			行動観察 発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	太陽の光 → 太陽を調べよう2		101 102	・はね返した日光が当たった所の温度について調べる。 ・日光が当たった所の明るさや温度についてまとめる。	2	・はね返した日光が当たった所の温度について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・はね返した日光が当たった所の温度について、鏡や温度計などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○	○		行動観察 発言 記録分析		
		集めた光	103 ～ 107	・日光を集めた所を小さくしたとき、明るく、あたたかく(あつく)なることをまとめる。 ・太陽の光について、学んだことをまとめる。	1	・はね返した日光や集めた日光の性質について理解しているかを評価する。	○			行動観察 発言 記録分析		
		単元 スト メテ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
	音のせいしつ	音が出る とき	108 ～ 110	・トライアングルを使って音を出し、音を出しているときのトライアングルの様子について気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、音が出ているときの様子について調べる問題を見いだす。	1	・トライアングルで音を出す中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、音が出るときの物の様子について問題を見いだし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		・身近な物理現象 (中1)
			110 ～ 112	・問題を解決するための実験の方法を考える。 ・楽器で音を出して、楽器がどのように震えているか調べる。 ・音が出るときの物の様子や、音の大きさと物の震え方の関係についてまとめる。	2	・音が出るときの物の様子を調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、実験結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・楽器などを正しく扱って、音を出し、音が出る様子や、音の大きさを調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 ・音が出るときの物の様子について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。	○	○	○	行動観察 発言 記録分析		
		音のつたわり	113 ～ 117	・音が伝わるとき、音を伝える物が震えているか調べる。 ・音が伝わるとき、音を伝える物が震えていることをまとめる。 ・音が出るときの物の様子について、学んだことをまとめる。	2	・音が伝わるときの物の様子について学んだことを生かして、糸電話を作り、離れた場所に声を伝えようとしているかを評価する。 ・物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わると物の震え方が変わることを理解しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			単元 スト メテ	・既習事項の定着を図る。	1		○	○				

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
12		物の形と重さ	118～120	・形を変えた粘土の重さを比べて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、物の重さについて調べる問題を見いだす。	1	・形を変えた粘土の重さを調べる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、物の形と重さについて問題を見いだし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		・物のとけ方(小5) ・水よう液の性質とはたらき(小6) ・身の回りの物資(中1)
			121	・粘土やアルミニウムはくの形を変えて、重さが変わるかどうか調べる。	1	・電子てんびんなどを正しく扱いながら、物の重さを測定し、得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。	○			行動観察 記録分析		
			122	・物の形と重さについてまとめる。	1	・物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
		物による重さのちがい	123 124	・塩と砂糖の重さを比べてみて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、体積が同じ物の重さについて調べる問題を見いだす。	1	・塩と砂糖の重さを比べる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、体積が同じ物の重さについて問題を見いだし、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			125	・塩と砂糖の体積を同じにして、重さを比べる。	1	・塩と砂糖の体積を同じにして、電子てんびんを正しく扱いながら、物の重さを測定し、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
			126～129	・体積が同じでも、物によって重さが違うことをまとめる。 ・同じ体積のいろいろな物の重さを比べる。 ・物の重さについて、学んだことをまとめる。	1	・物の体積と重さとの関係を調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して正確に実験を行い、問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			単元 スト 末 テ	・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
		学 ス 期 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
1	電気の通り道	明かりがつくつなぎ方	130～132	・豆電球、乾電池、導線を用いて明かりをつけてみて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、電気の通り道について調べる問題を見いだす。	1	・明かりをつけようとして、気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、電気の通り道について問題を見いだし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		・電流のはたらき(小4) ・電気と私たちのくらし(小6) ・電気とその利用(中2)
			133	・豆電球に明かりがつくときとつかないときのつなぎ方を調べる。	1	・豆電球に明かりがつくときのつなぎ方とつかないつなぎ方について、豆電球、乾電池、導線を正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
			134 135	・豆電球に明かりがつくつなぎ方とつかないつなぎ方の回路についてまとめる。	1	・電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		電気を通す物と通さない物	136	・回路の途中に鉄の釘や木の爪楊枝をはさんだときの様子を見て、電気を通す物について問題を見いだす。	1	・回路の途中に鉄の釘や木の爪楊枝をはさんだときの様子を比べる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、電気を通す物について問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			136 137	・回路にいろいろな物をつないで、電気を通す物を探す。	1	・電気を通す物を調べる活動に進んで取り組み、友達と予想や実験結果などを互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			138 ～ 141	・金属は電気を通すことをまとめる。	1	・電気を通すつなぎ方や電気を通す物について理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
		単 元 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
1・2		じしゃくにつく物	142 ～ 144	・いろいろな物に磁石を近付けてみて、気付いたことや疑問に思ったことを発表し合い、磁石の性質と働きについて調べる問題を見いだす。	1	・いろいろな物に磁石を近付ける中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、磁石の性質と働きについて問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析	・作ってためして(生活科2年)	・電流がうみ出す力(小5) ・電気とその利用(中2)
			145	・いろいろな物に磁石を近づけた経験やこれまでに学んだことを基に、どんな物が磁石に付くか予想する。 ・いろいろな物に磁石を近付けて、磁石に付くかどうか調べる。	2	・磁石に付く物を調べる活動に進んで取り組み、友達と予想や実験結果を互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・磁石に付く物について、磁石を正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			146 147	・鉄は磁石に付くことをまとめる。	1	・物には、磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があり、鉄は磁石に引き付けられる物であることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
		じしゃくが鉄を引きつける力	148	・磁石は離れていても鉄を引き付けることをまとめる。	1	・磁石が物を引き付ける力は、磁石と物が離れていても働き、その力は磁石と物の距離によって変わることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
			149	・磁石の極について知り、極の性質を調べる。	1	・磁石の極の性質について、磁石を正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
		極のせいしつ	150 151	・磁石の極の性質をまとめる。	1	・磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		じしゃくにつけた鉄	152 153	・磁石に付けた鉄のくぎが磁石になっているかを調べる方法を考え、調べる。	1	・磁石に付けた2本の鉄の釘を磁石から離れたときの様子を調べる中で気付いたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、磁石に付いた鉄の性質に問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			154 ～ 157	・磁石に付けた鉄の性質についてまとめる。	1	・磁石に付けた鉄の性質について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
			単 ス元 ト末 テ	・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
3		テ学 ス年 ト末		・既習事項の定着を図る。	1		○	○				
	つくってあそぼう		158 159	・これまでに学んだことを振り返って、作りたいおもちゃを考える。	1	・風やゴム、電気や磁石、音など、これまでに学んだことを生かして、作る物を考えようとしているかを評価する。 ・自分が作りたい物を考え、目的の物を完成させるための方法を発想し、表現しているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記録分析	・作ってためして(生活科2年)	
			159 ～ 161	・各自で工夫して、おもちゃを作り、作った物を動かしてみる。	2	・ものづくりの活動に進んで取り組み、友達の見ても参考にしながら、目的の物を完成させようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			161	・作ったおもちゃを持ち寄って、みんなで遊び、自分の作ったおもちゃの仕組みや遊び方を友達に説明する。	1	・作った物について、自分が作りたい物ができたかを判断し、さらに工夫したり修正したりする点がないかを考えて、表現しようとしているかを評価する。		○		行動観察 発言		

総合計時間数 90

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	あたたかくなると、あたたかさとしきもの	1年間の観察の計画	6～8	・春と早春の自然の様子 の資料写真を見比べて、 このごろの植物や動物の 様子について、気づいた ことや疑問に思ったこと を話し合う。 ・1年間の植物や動物の 様子の変化について話し 合い、観察計画を立てる。	1	・春と早春の自然の様子 の資料写真を見たり、 このごろの校庭の様子を 観察したりする中で身近 な動物や植物の様子の変 わり方について、既習の 内容や生活経験を基に、 根拠のある予想や仮説を 発想し、表現しているか を確認する。		○		発言 記録分析	・春の生き物(小3) ・たねまき(小3) ・チョウのかんさつ(小3) ・こん虫のかんさつ(小3)	・花から実へ(小5) ・魚のたんじょう(小5) ・生き物どうしのかかわり(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2)
		植物や動物のようす	9～11	・春の植物(木)の様子を 観察して、記録する。 ・春の動物の活動の様子 を観察して、記録する。	1	・温度計を正しく扱いなが ら気温を測定するととも に、虫眼鏡を正しく扱い ながら春の植物や動物の 様子を観察し、得られた 結果を絵や文で分かりや すく記録しているかを評 価する。	○			行動観察 記録分析		
			12 13	・ヘチマの成長のようす を観察して、記録する。	1	・ヘチマを育てる活動に 進んで取り組み、友達と 協力して水やりなどを 行いながら、問題解決 しようとしているかを評 価する。			○	行動観察 発言		
		記録の整理	14 15	・これまでの個人の記録 をクラス全体やグループ 別で工夫して整理し、春 の動物や植物のようすに ついてまとめる。	1	・あたたかくなると、植 物が成長を始めたり、動 物が活動を始めたこと を理解しているかを確認 する。	○			発言 記録分析		
		単元 スト ムテ		・既習事項の定着を図 る。	1		○	○		テスト		
4・5	動物のからだのつくりと運動	うでのつくりと動き	16～18	・物を持ち上げる活動を通 して、体の動かし方につ いて気づいたことや疑問 に思ったことを話し合い 、動物の体のつくりと動 き方について調べる問題 を見いだす。	1	・腕の曲がる部分の様子 について、根拠のある予 想や仮説を発想し、表現 しているかを確認する。		○		発言 記録分析	・こん虫のかんさつ(小3)	・動物のからだのはたらき(小6) ・植物のからだのはたらき(小6) ・生物の体のつくりと働き(中2)
			19 20	・腕の曲がる部分と曲が らない部分のつくりにつ いて調べ、まとめる。	1	・腕の曲がる部分のつ くりについて、自分の腕 を動かしたり触ったりし て調べ、得られた結果を 分かりやすく記録してい るかを評価する。	○			行動観察 発言 記録分析		
			21 22	・腕の筋肉のつくりと腕 の動きの関係を調べ、ま とめる。	1	・人が体を動かすことが できるのは、骨、筋肉の 働きによることを理解し ているかを確認する。	○			行動観察 発言 記録分析		
		からだ全体 のつくりと動き	23～25	・人の体の全身の骨や筋 肉のつくりと動き方につ いて調べ、人の体のつ くりと動き方についてま とめる。	1	・人の体のつくりと運動 との関わりについて、観 察などを行い、得られた 結果を基に考察し、表 現しているかを評価す る。		○		発言 記録分析		
		動物のほねと きん	26～29	・動物の体のつくりと動 き方を人と比べながら 調べる。	1	・動物の体のつくりと動 き方について、調べた 結果を基に、人と比較し ながら考察し、表現し ているかを確認する。		○		発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		テ単 スト末		・既習事項の定着を図る。	1		○	○	○	テスト		
5	天気と気温	一日の気温と天気	30 ～ 32	・晴れの日や曇りの日、雨の日の1日の気温の変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・晴れの日や曇りの日、雨の日の1日の気温の変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析	・太陽とかげ(小3)	・天気の変化(小5) ・気象とその変化(中2)
			33 34	・晴れの日や曇りの日、雨の日の1日の気温の変化について調べる。 ・折れ線グラフのかき方を知り、晴れの日や曇りの日、雨の日の観察結果をグラフにまとめる。	2	・晴れの日や曇りの日、雨の日の1日の気温の変化について、温度計を正しく扱うとともに、調べる場所や時間に注意しながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 ・天気の様子と気温との関係についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			35 ～ 37	・晴れの日や曇りの日や雨の日のグラフを比較して、1日の気温の変わり方について考え、天気による1日の気温の変わり方のちがいについてまとめる。 ・天気と気温について、学んだことをまとめる。	2	・天気による1日の気温の変化の違いについて、調べた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解しているかを評価する。	○	○		発言 記録分析		
		単 スト末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
5・6	電流のはたらき	かん電池のはたらき	38 ～ 40	・モーターの回る向きが何によって変わるのかについて、導入の活動や経験したことを基に予想する。	1	・モーターの回る向きが変わる要因について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析	・電気の通り道(小3)	・電流がうみ出す力(小5) ・電気と私たちの暮らし(小6) ・電気とその利用(中2)
			41 42	・乾電池の向きと、電流の向き、モーターの回る向きとの関係についてまとめる。	1	・乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解しているかを確認する。	○			発言 記録分析		
		かん電池のつなぎ方	43 44	・乾電池2個のつなぎ方を考えて、モーターが回る速さを調べる。 ・「直列つなぎ」と「並列つなぎ」という言葉を使って、乾電池2個のつなぎ方とモーターの回る速さとの関係をまとめる。	1	・モーターを速く回す方法について調べる活動に進んで取り組み、予想や実験結果などを友達と互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・モーターを速く回す方法について調べる活動に進んで取り組み、予想や実験結果などを友達と互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。		○	○	行動観察 発言		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
6	雨水のゆくえと地面のようす		44 45	・乾電池2個のつなぎ方によって、モーターが回る速さが違うのはなぜか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えて、モーターの回る速さと電流の大きさを調べる。	2	・乾電池2個のつなぎ方によって、モーターが回る速さが違う理由について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを確認する。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えたときのモーターの回る速さと電流の大きさについて、乾電池やモーター、検流計などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○	○		行動観察 発言 記録分析					
			46 ～ 49	・乾電池の数やつなぎ方と電流の働きについてまとめる。	1	・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、モーターの回り方や豆電球の明るさが変わることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析					
			単元 スト 末	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト					
		雨水の流れ方	50 ～ 52	・雨水はどこからどこへ流れてどのような所に集まるかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・雨水の流れ方や集まり方について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを評価する。	○			発言 記録分析			・流れる水のはたらき(小5) ・大地のつくり(小6) ・大地の成り立ちと変化(中1)		
			53 ～ 55	・雨水が流れていた所の地面の傾きや、水たまりとその周りの地面の傾きを調べる。 ・雨水の流れ方と集まり方についてまとめる。 ・資料を読んで、雨水による災害を防ぐ取り組みについて捉える。	2	・雨水の流れ方や集まり方を調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して取り組んだり、予想や観察結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。 ・雨水の流れ方について学んだことを生かして、身の回りの事物・現象について考えようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言					
			56 57	・土や砂の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて予想する。	1	・土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析					
			57 ～ 61	・雨水の行方と地面の様子について、学んだことをまとめる。	1	・雨水の流れ方や水のしみ込み方について理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析					
		単元 スト 末	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト						

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
6・7	暑くなるとあたたかさと生き物	植物のようす	62～64	・夏と春の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの自然の様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、植物や動物の様子の変わり方について問題を見いだす。 ・サクラやヘチマなどの成長の様子を観察して、記録する。	2	・温度計を正しく扱いながら気温を測定するとともに、夏の植物の様子を観察し、得られた結果を絵や文で分かりやすく記録しているかを確認する。 ・ヘチマを育てる活動に進んで取り組み、友達と協力して水やりなどを行ったり、成長の様子について互いに考えを伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析	・春の生き物(小3) ・たねまき(小3) ・チョウのかんさつ(小3) ・こん虫のかんさつ(小3)	・花から実へ(小5) ・魚のたんじょう(小5) ・生き物どうしのかかわり(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2)
		動物のようす	65～67	・夏の動物の活動の様子を観察して、記録する。	1	・温度計を正しく扱いながら気温を測定するとともに、夏の動物の様子を観察し、得られた結果を絵や文で分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
		記録の整理	68 69	・植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して、話し合う。	1	・植物や動物のこれからの変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
		単元 スト 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
7	夏の星 う 1 夏 の 星 を 見 上 げ よ う す	夏の星	70～73	・星の明るさや色には違いがあることをまとめる。	1	・空には明るさや色の違う星があることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		・月の形と太陽(6年) ・地球と宇宙(中3)
		夏の星	74 75	・星座早見などを使って星座を探す。	1	・方位磁針や星座早見などを正しく扱いながら、星座を探して観察し、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
		学期 スト 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
9	月や星の見える方 う 2 夏 の 星 を 見 上 げ よ う す	月の見える方	78～80	・月の見える位置は、時刻によってどのように変わっていくのか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・月の見える位置の変わり方について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析	・夏の星(小4)	・月の形と太陽(6年) ・地球と宇宙(中3)
			81～83	・昼に見える月の位置の変わり方を観察する。また、夜に見える月の位置や数日後に見られる月の見える位置を観察する。	1	・月の見える位置の変わり方を調べる活動に進んで取り組み、予想や調べる方法、観察結果について、友達と互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			84 85	・月の形や月の見える位置の変化についてまとめる。	1	・観察結果を基に、月は時刻によって見える位置が変わると考え、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9・10	自然のなかの水のすがた	星の見える方	86 87	・夜間に星の見える位置と並び方を観察する。	1	・方位磁針などを正しく使って、目当ての星を探し、星の見える位置と並び方を観察して、地上の目印や方位とともに分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
			88 ～ 91	・星や星座は時間がたつと、見える位置は変わるが、並び方は変わらないことをまとめる。	1	・月や星の見える位置の変わり方について理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
			単 元 末 テ	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		水のゆくえ	92 ～ 94	・水が空気中に出ていくのか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・水が空気中に出ていくのかについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。		○		発言 記録分析		
			95	・入れ物に入れた水が空気中に出ていくか調べる。	1	・水は空気中に出ていくのかについて、器具を正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
			96	・水は自然に蒸発して、空気中に出ていくことをまとめる。	1	・水は空気中に出ていくのかについて、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。		○		行動観察 発言 記録分析		
		空気中にある水	97	・蒸発した水は再び目に見えるすがたに戻るのか調べる。	1	・蒸発した水は再び目に見えるすがたに戻るのかを調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して取り組んだり、予想や実験結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言 記録分析		
			98 ～ 101	・いろいろな場所で、空気中に水蒸気があるか調べる。 ・自然の中の水のすがたについて、学んだことをまとめる。	2	・自然の中の水の状態変化について学んだことを生かして、さまざまな場所で空気中に水蒸気があるかを調べようとしているかを評価する。 ・水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			単 元 末 テ	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
10	すずしくなると あたたかさと生き物3	植物のようす	102 ～ 105	・秋と夏の自然の様子 の資料写真を見比べて、 このごろの植物や動物の 様子について話し合い、 植物や動物の様子の変 わり方について問題を 見いだす。 ・サクラやヘチマなど の成長の様子を観察し て、記録する。	2	・温度計を正しく扱いな がら気温を測定すると ともに、秋の植物の様 子を観察し、得られた 結果を絵や文で分か りやすく記録している かを評価する。 ・ヘチマを育てる活動 に進んで取り組み、友 達と協力して水やりな どを行ったり、成長の 様子について互いに考 えを伝え合ったりしな がら、問題解決しよ うとしているかを評価 する。	○		○	行動観察 発言 記録分析	・春の生き物(小3) ・たねまき(小3) ・チョウのかんさつ(小3) ・こん虫のかんさつ(小3)	・花から実へ(小5) ・魚のたんじょう(小5) ・生き物どうしのか かわり(小6) ・いろいろな生物と その共通点(中1) ・生物の体のつくりと 働き(中2)
		動物のようす	106 107	・秋の動物の活動の様 子を観察して、記録す る。	1	・温度計を正しく扱いな がら気温を測定すると ともに、秋の動物の様 子を観察し、得られた 結果を絵や文で分か りやすく記録している かを評価する。	○			行動観察 記録分析		
		記録の整理	108 109	・これまでの記録を整 理して、植物や動物の 様子と気温との関係 を考える。	1	・ヘチマの成長と気温 との関係について、こ れまでの記録を基に考 察し、表現している かを評価する。		○		発言 記録分析		
		単元 スト ムテ		・既習事項の定着を 図る。	1		○	○		テスト		
10・11	とじこめた空気と水 物のせいしつを調べよう1	とじこめた空気	110 ～ 112	・ふくろに空気を閉じ 込めて空気を感じた 後、プラスチックの 筒に詰めた玉を飛ば し、玉の飛び方につ いて気づいたことや 疑問に思ったことを 話し合い、閉じ込め た空気の様子につ いて問題を見いだす。	1	・筒に詰めた玉を飛ば す活動を行う中で 気づいたことや疑問 に思ったことから、 差異点や共通点を 基に、閉じ込めた空 気の様子について問 題を見だし、表現し ているかを評価す る。		○		発言 記録分析		・物の燃え方と空気 (小6) ・身の回りの物質 (中1)
			112	・閉じ込めた空気をお すと空気はどうなる のかについて、これ までに学んだことや 経験したことを基 に予想する。	1	・閉じ込めた空気をお すと体積はどうなる のかについて、既習 の内容や生活経験を基 に、根拠のある予想 を予想し、表現し ているかを評価す る。		○		発言 記録分析		
			113	・注射器に閉じ込めた 空気をおして、体積 や手応えを調べる。	1	・空気をおしたときの 体積や手応えにつ いて、器具を正しく 扱いながら調べ、得 られた結果を分か りやすく記録してい るかを評価する。	○			行動観察 記録分析		
			114	・閉じ込めた空気をお したときの体積や手 応えをまとめる。	1	・閉じ込めた空気をお すと、体積は小さく なることを理解し ているかを評価す る。	○			発言 記録分析		
		とじこめた水	115	・閉じ込めた水をお すと水はどうなる のかについて、これ までに学んだことや 経験を基に予想す る。	1	・閉じ込めた水をお すと体積はどうなる のかについて、既習 の内容や生活経験を基 に、根拠のある予想 を予想し、表現し ているかを評価す る。		○		発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
			116 ～ 119	・空気と水の性質の違いをまとめる。	1	・空気と水の性質の違いについて、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
		単 元 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
11	物の体積と温度 と物のせいしつを調べよう2	空気 の 体 積 と 温 度	120 ～ 122	・試験管の口にせっけん水の膜を張って試験管を持ったときの、せっけん水の膜の様子について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、空気の体積と温度について問題を見いだす。	1	・せっけん水の膜を膨らませる活動を行う中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、温度による空気の体積変化について問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析	・とじこめた空気と水(小4)	・身の回りの物質(中1)
			122 123	・空気をあたためたり冷やしたりした時の体積の変化を予想し、調べる方法を考える。	1	・空気の体積と温度との関係について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			123 124	・空気をあたためたり冷やしたりして、体積の変化を調べる。	1	・温度による空気の体積変化について調べる活動に進んで取り組み、予想や実験結果などを友達と互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
		水 の 体 積 と 温 度	125 126	・温度による水の体積変化を空気のとときと比較しながらまとめる。	1	・温度による水の体積変化について、得られた結果を基に、空気と比べながら考察し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
		金 ぞ く の 体 積 と 温 度	127 128	・金属はあたためられたり冷やされたりすると体積が変わるのかについて、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・温度による金属の体積変化について、空気や水について学んだことや生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
			129 ～ 133	・金属を熱したり冷やしたりして、体積の変化を調べる。 ・温度による金属の体積変化を空気や水のとときと比較しながらまとめる。	2	・温度による金属の体積変化について、加熱器具などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 ・金属、水及び空気は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解しているかを評価する。	○	○		発言 記録分析		
		単 元 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
12	物のあたたまり方 物のせいしつを調べよう3	金ぞくのあたたまり方	134～136	・金属のスプーンを熱い湯につけて、スプーンの内側や端の方を触れたときに、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、金属のあたたまり方について問題を見いだす。	1	・熱い湯につけた金属のスプーンの内側や端の方に触れる中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、金属のあたたまり方について問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析	・物の体積と温度(小4) ・自然のなかの水のすがた(小4)	・物の燃え方と空気(小6) ・身の回りの物質(中1)
			137～138	・金属の一部を熱して、あたたまり方を調べる。 ・金属のあたたまり方をまとめる。	2	・金属のあたたまり方について、実験結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・金属は熱せられた部分から順にあたたまることを理解しているかを評価する。	○	○		発言 記録分析		
		空気 のあたたまり方	139～141	・空気はどのようにあたまっていくのか予想し調べる。 ・空気のあたたまり方をまとめる。	2	・空気は熱せられた部分が移動して全体があたたまることを理解しているかを評価する。 ・空気のあたたまり方を調べる活動に進んで取り組み、実験結果や考えを友達と互いに伝え合いながら、問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析		
			142	・これまでに学んだことや経験したことをもとに、水のあたたまり方を予想する。	1	・水のあたたまり方について、金属や空気について学んだことや生活経験を基に、根拠のある予想を予想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
		水 のあたたまり方	143	・水の一部を熱して、水のあたたまり方と動き方を調べる。	1	・加熱器具を正しく扱いながら、水の一部を加熱し、示温インクや絵の具の様子から水のあたたまり方を調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
			144～147	・物のあたたまり方について、学んだことをまとめる。	1	・金属は熱せられた部分から順にあたたまるが、空気や水は熱せられた部分が移動して全体があたたまることを理解しているかを評価する。	○	○	○	発言 記録分析		
		単元 末 テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	学 期 末 テ			・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	冬の星 夜空を見上げよう3	冬の星	148～151	・冬に見られる星の明るさや色、見え方について、話し合ったり調べたりする。 ・冬に見られる星の明るさや色、見え方についてまとめる。	2	・星の明るさや色、見え方について学んだことを生かして、冬に見られる星の明るさや色、見え方について予想しようとしているかを評価する。 ・空には明るさや色の違う星があること、星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記録分析	・夏の星(4年) ・月や星の見え方(4年)	・月の形と太陽(6年) ・地球と宇宙(中3)
1	寒くなるとあたたかさと生き物4	動物や植物のようす	152～155	・冬と秋の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合い、植物や動物の様子の変わり方について問題を見いだす。 ・冬の植物や動物の様子を観察して、記録する。	2	・冬と秋の自然の様子の資料写真を見たり、このごろの校庭の様子を観察したりする中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、あたたかさや生き物の様子について問題を見いだし、表現しているかを確認する。 ・温度計を正しく扱いながら気温を測定するとともに、冬の植物や動物の様子を観察し、得られた結果を絵や文で分かりやすく記録しているかを確認する。	○	○		発言 記録分析	・春の生き物(小3) ・たねまき(小3) ・チョウのかんさつ(小3) ・こん虫のかんさつ(小3)	・花から実へ(小5) ・魚のたんじょう(小5) ・生き物どうしのかかわり(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2)
		記録の整理	156～157	・寒い頃のサクラの枝先の様子と枯れたヘチマの様子との違いを基に、サクラとヘチマの冬越しの仕方について考え、まとめる。	1	・寒くなると、植物には種をつくって生命をつなげるものや葉は枯れ落ちても枝に芽を付けて冬を越すものがあること、動物は活動するものが少なくなり、成体の他に蛹や卵などで冬越しをするものがあることを理解しているかを確認する。	○			発言 記録分析		
		単元末テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
1・2	水を熱したとき	水を熱したとき	158～160	・熱したときの水の温度や様子の変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・水を熱したときの温度や様子について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析	・太陽とかげ(小3) ・自然のなかの水のすがた(小4)	・天気の変化(小5) ・身の回りの物質(中1) ・気象とその変化(中2)
			161～162	・熱したときの水の様子や温度の変化を調べ、表やグラフに整理する。 ・熱したときの水の様子や温度の変化についてまとめる。	2	・水を熱したときの様子や温度の変化について、温度計や加熱器具を正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。 ・水は熱し続けると約100℃で沸騰することを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	水のすがたと温度 物のせいしつを調べよう4	湯気とあわの正体	163 164	・湯気やあわの正体について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・湯気やあわの正体について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記録分析		
			165	・水を熱して、湯気や泡の正体について調べる。	1	・湯気や泡の正体を調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、予想や実験結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			166 167	・水を熱したときの変化について、まとめる。	1	・水は熱し続けると水蒸気になることを理解しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
		水を冷やしたとき	168	・氷のでき方について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。	1	・氷のでき方について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記録分析		
			169	・冷やしたときの水の様子や温度と体積の変化を調べ、表やグラフに整理する。	2	・水を冷やしたときの温度と体積の変化について、温度計などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。	○			発言 記録分析		
			170 ～ 173	・冷やしたときの水の様子や温度の変化についてまとめる。 ・温度による水のすがたの変化について、学んだことをまとめる。	3	・水は冷やされると0℃で凍り始め、氷になると体積が増えることを理解しているかを評価する。 ・水のすがたの変化について、これまでに調べた結果を基に、温度との関係を考察し、表現しているかを確認する。 ・水は、温度によって水蒸気や氷に変わること、また、水が氷になると体積が増えることを理解しているかを確認する。	○	○	○	行動観察 発言 記録分析		
			テ単 スト末	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
3	生き物 あたの1年をふり返して	植物や動物のようす	174 ～ 177	・1年間の観察記録を整理して、植物や動物の様子と気温との関係についてまとめ、発表する。 ・あたたかさ生き物の様子の変化について、学んだことをまとめる。	3	・植物や動物の様子と気温との関係について、1年間の観察記録を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・生き物の様子と気温との関係についてこれまでに学んだことを生かして、身近に見られる生き物の様子のこれからの変化について考えようとしているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記録分析	・生き物の1年をふり返って(小3)	・生き物どうしのかかわり(小6) ・地球に生きる(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりと働き(中2) ・生命の連続性(中3) ・自然と人間(中3)

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		記録の整理	177～179	・資料を読んで、早春の植物や動物の様子を観察し、あたたかさの変化と生命のつながりについて捉える。	1	・あたたかい季節には、植物がよく成長し、動物の活動も活発になるが、寒い季節には、植物の成長が鈍くなって、動物の活動も少なくなっていることを理解しているかを評価する	○			発言 記録分析		
		学年末テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		

総合計時間数

105

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	天気の変化	雲と天気	6 7	・午前と午後の空の様子 の資料写真を見比べて、 天気の変化について調べる 問題を見いだす。	1	・午前と午後の空の様子 の資料写真を見比べて、 天気の変化について調べる 問題を見いだす。		○		発言 記述分析	・天気と気温(小4)	・天気とその変化 (中2)
			8 ～ 11	・天気の変化と雲の様子 の関係について、調べる 方法を考える。 ・雲の形や量、動きなど が変わると天気が変わる ことをまとめる。	3	・天気の変化と雲の様子 の関係について、予想や 仮説を基に、解決の方法 を予想し、表現している かを評価する。 ・天気の変化は、雲の 量や動きと関係がある ことを理解しているかを 評価する。	○	○		発言 記述分析		
		天気の予想	12 13	・天気の変化の仕方を 調べるための気象情報 の集め方を考え、計画 を立てる。 ・数日間、気象情報を 集めて天気の変化を調 べる。	2	・天気の変化の仕方を 調べる活動に進んで取 り組み、友達と調べる 方法について互いに伝 え合ったり、協力して 気象情報を集めたりし ながら、粘り強く問題 解決しようとしている かを評価する。 ・天気の変化の仕方 について、自分の予想 を基に、解決の方法を 予想し、表現している かを評価する。		○	○	行動観察 発言 記述分析		
			14 ～ 16	・記録をまとめ、春の 頃の天気の変化のきまり を考え、まとめる。 ・自分で天気を予想す る方法を考え、天気を 観測したり、気象情報 を集めたりして、明日 の天気を予想する。	2	・天気の変化の仕方 について、観察などを 行い、得られた結果を 基に考察し、表現して いるかを評価する。		○		発言 記述分析		
			16 ～ 19	・資料を読んで、天気 のことわざについて知る。 ・天気の変化について、 学んだことをまとめる。	1	・天気の変化の仕方 や気象情報の活用の 仕方について理解して いるかを評価する。 ・天気の変化の仕方 について学んだことを 生かして、明日の天 気について考えよう としているかを評価 する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			単 元 ス ト テ	・既習事項の定着を図 る。	1		○	○		テスト		
		種子が発芽する条件	20 ～ 22	・種子はどうすれば発 芽するのかを考え、発 芽と水の関係につい て、調べる。 ・種子の発芽と水の 関係について捉え、種 子の発芽について問 題を見いだす。	2	・発芽と水の関係につ いて調べる中で気づ いたことや疑問に思 ったことから、差異 点や共通点を基に、 種子が発芽するた めの条件について問 題を見だし、表現 しているかを評価 する。		○		発言 記述分析	・植物を育てよう(小 3) ・あたたかさとし 生き物(小4)	・植物のからだのは たらきあ(小6) ・生き物どうしのか かわり(小6) ・いろいろな生物と その共通点(中1) ・生物の体のつくり とそのはたらき(中 2)
5			23 24	・種子の発芽と温度 や空気との関係を調 べる条件を考え、実 験の計画を立てる。	1	・植物の発芽や成長 について、予想や仮 説を基に、解決の 方法を予想し、表 現しているかを 評価する。		○		発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
6	植物の発芽と成長	種子の発芽と養分	25	・種子の発芽と温度や空気との関係を調べる条件を整え、実験を行う。	2	・種子の発芽と空気や温度との関係について、使用する器具を選択して実験を設定し、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。 ・種子が発芽する条件を調べる活動に進んで取り組み、調べる方法や実験結果などを友達と互いに伝え合いながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			26 27	・種子が発芽する条件についてまとめる。	1	・種子が発芽する条件について、得られた実験結果を基に考察し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			28 29	・種子が発芽するときの子葉の働きを調べる。	2	・発芽前の種子と発芽してしばらくたった苗の子葉の部分の違いについて、ヨウ素液を使って調べ、結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
			30 31	・種子が発芽するときの養分についてまとめる。	1	・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		植物が成長する条件	32	・植物の成長と日光や肥料との関係を調べる条件を考え、実験の計画を立てる。	1	・植物が成長する条件を調べる実験について、自分の予想を基に、植物の成長と日光や肥料との関係を調べる方法を、他の条件の制御と合わせて発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			33	・日光と成長、肥料と成長との関係を調べる実験を行う。	2	・植物の成長と日光や肥料との関係について、使用する器具などを選択して実験を設定し、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			34	・日光と成長との関係、肥料と成長との関係についてまとめる。	2	・植物の成長には、日光や肥料が関係していることを理解しているかを評価する。 ・植物が成長する条件について学んだことを生かして、身の回りの事物・現象について考えようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			35 ～ 37	・植物の発芽と成長について、学んだことをまとめる。	1	・種子が発芽するときの養分や植物が発芽したり成長したりするための条件について理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	魚のたんじょう	単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		たまごの変化	38 39	・メダカの資料写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、メダカの子どもが生まれるまでの卵の変化について問題を見いだす。	1	・メダカの卵や子メダカについて気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、メダカの卵の育ち方について問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析	・あたたかさとしき物(小4)	・動物のからだのつくりとはたらき(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生物の体のつくりとそのはたらき(中2) ・生命の連続性(中3)
			40 41	・メダカの雌雄の見分け方を知る。	2	・魚には雌雄があり、子どもが生まれるためには雌と雄の両方が必要であることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
			42 43	・メダカの卵の育ち方を予想し、調べる方法を考える。	1	・メダカの卵の育ち方について予想し、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			44 45	・数日ごとにメダカの卵の中の変化を解剖顕微鏡で観察し、記録する。 ・かえった子メダカを観察し、メダカの卵の中での変化についての記録を整理する。	3	・解剖顕微鏡などを正しく扱いながら、メダカの卵を観察し、変化の様子を適切に記録しているかを評価する。 ・メダカの卵の中の変化について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。 ・メダカの卵の育ち方を調べる活動に進んで取り組み、粘り強く観察を続けたり、友達と観察結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。	○	○	○	行動観察 発言 記述分析		
			46 ～ 49	・魚の卵の中の変化についてまとめる。	1	・魚の卵は、日が経つにつれて中の様子に変化し、やがてかえることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		テスト末		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
9	花から実へ	花のつくり	52 ～ 55	・ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる。	1	・ヘチマとアサガオの花のつくりについて、使用する器具を選択し、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析	・植物を育てよう(小3) ・あたたかさとしき物(小4)	・植物のからだのつくりとはたらき(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生き物のからだのつくりとはたらき(中2) ・生命の連続性(中3)
			56	・ヘチマやアサガオのおしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。	2	・ヘチマとアサガオの花粉について、使用する器具を選択し、正しく扱いながら調べているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	花 粉 の は た ら き	57	57	・両性花と単性花の花のつくりと結実部分、花粉についてまとめる。	1	・ヘチマとアサガオの花のつくりや花粉について、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
				・受粉と実のつき方との関係を調べるための方法を考える。 ・花粉の働きを調べる。	2	・受粉と実のつき方との関係を調べる実験について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。 ・受粉と実のつき方との関係について、適切に実験を行い、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○	○		行動観察 発言 記述分析		
				・受粉と実のつき方についてまとめる。	1	・花のつくりと実のつき方について理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		単元 スト テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	台 風 と 天 気 の 変 化	64 ～ 67	64 ～ 67	・台風の資料写真を見て、台風の動き方と天気の変化について問題を見いだす。	1	・台風の進み方と天気の変化について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析	・太陽の光(小3) ・天気と気温(小4)	・天気とその変化(中2)
				・台風の進路と天気の変化についてまとめる。	1	・日本付近での台風の進路や、台風が強い風や大量の雨をもたらすことについて理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		わたしたちのくらしと災害	69 ～ 71	・台風による災害や、災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・台風がもたらすめぐみについて知る。	2	・台風による災害や災害に対する備えについて、調べた結果を基に考察し、災害に対して備えることの重要性を捉え、表現しているかを評価する。 ・台風の進み方や天気の変化について学んだことを生かしながら、台風に対する備えや台風が近づいたときの自らの行動について考えようとしているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記述分析		
		単元 スト テ		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	川 原 の 石	72 ～ 74	72 ～ 74	・2枚の川の写真を比べて、流れる場所による川や川原の様子の違いについて問題を見いだす。	1	・同じ川の2枚の写真を比べる中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、流れる場所による川や川原の様子の変化について問題を見だし、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析	・流れる水のはたらき(小4)	・大地の変化(中1)
				・川の写真を見て、山の中、平地へ流れ出た辺り、平地での様子を比べ、それらの違いを話し合い、まとめる。	1	・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		流れる水のはたらき	79 80	・土の斜面に水を流して、流れる水の働きを調べる。 ・流れる水の働きについてまとめる。	2	・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
11	流れる水のはたらき	流れる水のはたらきの大きさ	81 82	・流れる水の量と土地の様子の変化との関係を調べるための方法を考える。	1	・流れる水の量と土地の様子の変化との関係を調べる実験について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			83	・流す水の量を変えて、水の働きのちがいを調べる。	1	・流れる水の量と土地の様子の変化との関係について、変える条件と変えない条件を正しく制御して調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			84 85	・水の量と流れる水の働きとの関係について、実験結果を実際の川に当てはめながら考え、まとめる。	1	・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		わたしたちのくらしと災害	86 ～ 90	・川の水による災害や、災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・自分たちの住む地域を流れる川を観察して、川の様子や災害を防ぐための工夫について調べる。	2	川の水による災害や災害に対する備えについて、調べた結果を基に考察し、災害に対して備えることの重要性を捉え、表現しているかを評価する。 ・流れる水の働きと土地の様子や変化について学んだことを生かして、自分が住んでいる地域に見られる川や川原の様子、災害を防ぐための工夫について調べようとしているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記述分析		
			91 ～ 93	・流れる水の働きについて、学んだことをまとめる。	2	・流れる水の働きと土地の様子や変化について理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
			単元 テスト	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
			94 ～ 96	・水に溶けて見えなくなった物の行方について予想し、調べる方法を考える。	2	・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・物のあたまり方(小4)	・水溶液の性質とはたらき(小6) ・身のまわりの物質(中1) ・化学変化とイオン(中2)

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
12	物のとけ方	物が水にとけるときの	97～99	・水に溶けて見えなくなった物の行方について、まとめる。 ・コーヒーシュガーや片栗粉を水に入れて、そのときの様子を観察する。	2	・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解しているかを評価する。 ・水に溶けて見えなくなった食塩の行方について学んだことを生かして、水に入れたコーヒーシュガーや片栗粉の行方について考えようとしているかを確認する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			100	・コーヒーシュガーを入れた液と片栗粉を入れた液を比べて、気づいたことを話し合う。	1	・コーヒーシュガーや片栗粉を水に入れたときの結果を基に、物が水に溶けることについて考察し、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析		
		物が水にとける量	101 102	・食塩とミョウバンが水に溶ける量には限りがあるかを調べる。 ・物が水に溶ける量には限りがあることをまとめる。	2	・物が水に溶ける量には、限度があること、また、物が水に溶ける量は、溶ける物によって違うことを理解しているかを評価する。 ・物が水に溶ける量について学んだことを生かして、食塩とミョウバンを見分ける方法を考えようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			103 104	・食塩やミョウバンを更に水に溶かすことができるかについて問題を見だし、調べる方法を考える。	1	・水の量や温度の違いによる物の溶ける量について、自分の予想を基に、解決の方法を予想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析		
			104 105	・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、食塩とミョウバンの溶ける量を調べる。	2	・食塩とミョウバンが水に溶ける量について、使用する器具を正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。 ・食塩とミョウバンが水に溶ける量を調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、実験結果などを互いに伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			106 107	・水の量を変えたり、水の温度を変えたりしたときの、物の溶ける量についてまとめる。	1	・物が水に溶ける量は、水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
			108 109	・ミョウバンの水溶液から溶けていたミョウバンが出てきたことについて問題を見いだす。 ・水溶液を冷やしたり、水溶液から水を蒸発させたりして、溶けている物を取り出すことができるかを調べる。	2	・水に溶けた物を取り出す方法について、使用する器具を選択し、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		くり出す	110～113	・水に溶けた物の取り出し方についてまとめる。 ・物の溶け方について、 <u>学んだこと</u> をまとめる。	2	・物が水に溶けたときの重さや物が水に溶ける量などについて理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		学期末テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
1	人のたんじょう	人の生命のたんじょう	114～117	・妊婦やうまれたばかりの人の子どもの様子の資料写真を見て、人の子どもの母体内での成長について問題を見いだす。	1	・妊婦やうまれたばかりの人の子どもの様子の資料写真を見比べる中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、人の子どもの母体内での成長について問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・あたたかさとしき物(小4)	・生き物どうしのかかわり(小6) ・いろいろな生物とその共通点(中1) ・生命の連続性(中3)
			117～119	・人の子どもの母体内での成長について、調べる計画を立て、資料などで調べる。	2	・人の子どもの母体内での成長について、資料などを選択して調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。 ・人の子どもの母体内での成長について調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、調査結果などを互いに伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			120～123	・人の子どもの母体内での成長について、 <u>学んだこと</u> をまとめる。	2	・人は、母体内で成長して生まれることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	電磁石の性質		124～126	・電磁石の性質について予想し、調べる方法を考える。	2	・電磁石の性質を調べる実験について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・電気の通り道(小3) ・じしゃくのせいしつ(小3) ・電流のはたらき(小4)	・電気と私たちのくらし(小6) ・身のまわりの物質(中1) ・電気の変化(中2) ・化学変化とイオン(中3)
			127	・電磁石の極について調べる。	1	・電磁石の極について、電磁石などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
			128	・電磁石の性質についてまとめる。	1	・電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
2	電流がうみ出す力	電磁石の強さ	129 130	・電磁石を強くする方法について考え、調べる方法を考える。	1	・電磁石を強くする方法を調べる実験について、自分の予想を基に、条件の制御の仕方や実験の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			131	・電流の大きさや導線の巻き数を変えたときの、電磁石の強さを調べる。	2	・電磁石の強さについて、使用する器具などを選択して実験を設定し、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。 ・電磁石を強くする方法を調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、実験結果などを互いに伝え合ったりしながら、問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			132 133	・電流の大きさや導線の巻き数を変えたときの電磁石の強さについてまとめる。	1	・電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻き数によって変わることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		電磁石を利用した物	134 ～ 137	・目的を考えながら電磁石を利用した道具やおもちゃを作る計画を立てる。 ・作った物が計画どおりになっているか確かめ、必要に応じて修正する。	3	・電磁石を利用した道具やおもちゃについて、自分の目的を基に、完成させるために必要な材料や方法を発想し、表現しているかを評価する。 ・作った物について、自分が作りたい物ができたかを判断し、更に工夫したり修正したりする点がないかを考えて、表現しようとしているかを評価する。		○		発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	ふりこのきまり	ふりこの1往復する時間	138 ～ 140	・振り子を作って、曲のテンポに合わせてみる活動を通して、振り子の振れ方について問題を見いだす。	1	・振り子を作って、曲のテンポに合わせてみる中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、振り子の振れ方について問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・風やゴムのはたらき(小3)	・てこのはたらきとしくみ(小6) ・運動とエネルギー(中3)
			141 ～ 143	・振り子の1往復する時間が何によって変わるかを調べる方法を考える。 ・振り子の長さを変えて、振り子の1往復する時間が変わるか調べる。	2	・振り子の1往復する時間のきまりを調べる実験について、自分の予想を基に、条件の制御の仕方や実験の方法を発想し、表現しているかを評価する。 ・振り子の長さや振り子の1往復する時間との関係について、使用する器具などを選択して実験を行い、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○	○		行動観察 発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3			144	・おもりの重さを変えて、振り子の1往復する時間が変わるか調べる。	1	・おもりの重さと振り子の1往復する時間との関係について、使用する器具などを選択して実験を行い、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			145	・振り子の振れ幅を変えて、振り子の1往復する時間が変わるか調べる。	1	・振り子の1往復する時間のきまりについて調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、実験結果などを互いに伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			146 147	・実験結果を整理し、振り子のきまりについて考え、まとめる。	1	・振り子の1往復する時間のきまりについて、得られた結果を基に考察し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			148 ～ 151	・1秒で1往復する振り子を作る。	1	・振り子のきまりについて学んだことを生かして、1秒で1往復する振り子を作ろうとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	テスト	期末		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
総合計時間数					105							

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	地球と私たちの暮らし		6～9	・人の暮らしが環境とどのように関わり合っているか考え、これからの学びに見通しを持つ。	2	・人と環境との関わりについて、気づいたことや疑問に思ったことなどを表現しているかを確認する。 ・SDGsに関する資料を読んで、持続可能な開発目標を達成するために、これからの理科の学習の中で調べたいことを考えようとしているかを確認する。		○	○	行動観察 発言 記述分析		・生物と環境(中3)
		物が燃え続けるには	10～12	・集气瓶の中でろうそくを燃やし続けるにはどうすればよいか、調べる方法を考える。	1	・物を燃やし続けるにはどうすればよいかについて、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・植物の発芽と成長(小5)	・動物のからだのはたらき(小6) ・植物のからだのはたらき(小6) ・気体の発生とその性質(中1)
	物の燃え方と空気	物が燃え続けるには	13 14	・実験結果を基に、物が燃え続けるにはどのような必要があるか考える。	1	・実験結果を基に、物が燃え続けるために必要なことについて考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			15～17	・窒素、酸素、二酸化炭素のうち、物を燃やす働きがある気体はどれかを調べ、まとめる。	1	・物が燃え続けるために必要なことについて学んだことを生かして、身の回りの事物・現象について考えようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			18 19	・空気の成分の変化について問題を見いだす。・物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について、石灰水や気体検知管で調べる。	2	・物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。 ・物が燃える前後の空気の変化について、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○	○		行動観察 発言 記述分析		
		空気の変化	20 21	・実験結果を基に、物が燃える前と物が燃えた後の空気の変化について考える。	1	・実験結果を基に、物が燃える前後の空気の変化について考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			22 25	・物が燃えるときの空気の働きについて、学んだことをまとめる。	1	・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
				・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	食べ物	食べ物のゆくえ	26～28	・漫画を読んで、ご飯は人の口の中でどうなっていくか考え、食べ物のゆくえについて問題を見いだす。	1	・漫画を読んだり、生活経験を想起したりする中で気づいたことや疑問に思ったことから、食べ物のゆくえについて問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・動物のからだのつくりと運動(小4) ・物の燃え方と空気(小6)	・生命を維持するはたらき(中2)
			28 29	・唾液の働きを調べる方法を考え、ご飯粒を使って調べる。	1	・唾液がでんぷんを変化させるかを調べる実験について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
6	動物のからだのはたらき		30 ～ 33	・実験結果を基に、唾液がでんぶんを変化させたといえるか考え、まとめる。 ・消化と吸収の仕組み、消化管と消化液の働きを調べ、まとめる。	2	・実験結果を基に、唾液がでんぶんを変化させるかについて考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。 ・人の消化と吸収について学んだことを生かして、他の動物の消化管のつくりについて考えようとしているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記述分析		
			34 35	・呼吸の働きについて予想し、吐き出した空気と吸う空気はどのように違うかについて、石灰水や気体検知管などで調べる。	1	・吐き出した空気と吸う空気の違いについて、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			36 37	・動物の呼吸の仕組みを捉える。	1	・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
		血液のはたらき	38 ～ 40	・全身の血液の流れと働きについてまとめる。	1	・血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
			41	・メダカやウサギの血管や血液の流れを観察する。	1	・動物の血管や血液の流れについて、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
		人のからだのつくり	42 ～ 45	・人の体内にある臓器について、それぞれの名称や体内の位置を確かめる。	1	・呼吸や消化、吸収、循環などの仕組みとそれらに関わる臓器の働きについて理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	植物のからだのはたらき	植物の水の通り道	46 ～ 48	・しおれた植物に水やりをした後の植物が変化している様子の資料写真を見て、植物の体の働きについて考え、問題を見だし、予想する。	1	・根から吸い上げられた水の通り道について、問題を見だし、予想したことを表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・植物の発芽と成長(小5) ・花から実へ(小5) ・物の燃え方と空気(小6)	・植物の体の共通点と相違点(中1)
			49 50	・植物を着色した水に入れて、植物の体の水の通り道を調べ、まとめる。	1	・着色した水などを使って植物の根、茎、葉を染め、調べる器具などを選択して、それらの様子を観察し、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
			51 52	・葉まで運ばれた水が葉などから出ているか調べ、水は水蒸気になって葉から出ていくことをまとめる。	1	・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
			53 54	・植物がよく成長するために日光が必要な理由を考え、葉に日光が当たるとでんぶんができるか調べる方法を考える。	1	・葉に日光が当たるとでんぶんができるかについて、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	植物と日光のかかわり	55		・葉に日光が当たるとでんぷんができるかどうか調べる。	2	・葉に日光が当たるとでんぷんができるかについて、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。 ・葉に日光が当たるとでんぷんができるかを調べる活動に進んで取り組み、他のグループの結果も参考にしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			56～59	・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるか考え、まとめる。	1	・実験結果を基に、葉に日光が当たるとでんぷんができるかについて考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	生き物どうしのかかわり	食べ物とおした生き物のかかわり	60～62	・資料写真を見て、人や他の動物の食べ物について考え、食べ物を通して生き物の関わりについて問題を見いだす。	1	・人や他の動物の食べ物について、問題を見だし、予想したことを表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析	・あたたかさとしき物(小4) ・魚のたんじょう(小5) ・人のたんじょう(小5)	・地球に生きる(小6) ・自然界のつり合い(中1)
			63～67	・ダンゴムシが落ち葉を食べる様子や水中の小さな生き物を観察するなどして、自然の中での動物の食べ物を調べる。	2	・観察したり調べたりした結果を基に、生き物の食べ物を通して関わりについて考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。 ・生き物の間には、「食べる」「食べられる」という関係があることを理解しているかを評価する。	○	○		発言 記述分析		
		空気とおした生き物どうしのかかわり	68～70	・空気中に酸素を出している物は何かに問題を見だし、植物が酸素を出しているかを調べ、まとめる。	2	・空気中に酸素を出している物は何かにについて、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。 ・生き物と空気との関わりを調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、予想や計画、実験結果を受けての考察を互いに伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			71～75	・生き物と食べ物、空気、水との関わりについて、学んだことをまとめる。	1	・生き物と食べ物、空気、水との関わりについて理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		学期末テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9	月の形と太陽	月の形の見える方	78～81	・2枚の日没時の月の資料写真を見比べて、月の見え方について問題を見いだす。	1	・資料写真を見る中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、月の見え方について問題を見いだし、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・月や星の見え方(小4)	・月や金星の運動と見え方(中3)
			81 82	・観察結果から、月の形が日によって変わって見えることをまとめる。	2	・日没直後の月の形と位置を調べる活動に進んで取り組み、繰り返し観察したり、友達と互いに観察結果を伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。 ・月の輝いて見える側に太陽があることを理解しているかを確認する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			82 83	・月の形が変わって見える理由を、ボールに光を当てるモデル実験で確かめる。	1	・月の形が変わって見える理由について、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら、モデル実験を行って調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			84～89	・観察①と実験①の結果を関連付けながら、月の形が変わって見える理由を考え、まとめる。	1	・観察や実験の結果を基に、月の形が変わって見える理由について考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
10	大地のつくりと変化	大地をつくっている物	90～93	・自分たちの地域にある崖の様子を観察する。また、崖から採取してきた物や火山灰、ボーリング試料など、崖のしほ模様をつくっている物を調べる。	3	・安全に注意しながら、崖の様子を観察し、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。 ・崖の様子や崖のしほ模様をつくっている物を調べる活動に進んで取り組み、他のグループの結果も参考にしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析	・流れる水のはたらき(小5)	・身近な地形や地層、岩石の観察(中1) ・地層の重なりと過去の様子(中1) ・火山活動と火成岩(中1) ・地震の伝わり方と地球内部の働き(中1)
			94 95	・崖がしほ模様に見える理由を考え、地層についてまとめる。	1	・観察結果を基に、崖がしほ模様に見える理由について考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析		
		地層のでき方	96 97	・流れる水の働きによる地層のでき方を予想し、水槽に土を流し込むモデル実験を通して調べる。	1	・流れる水の働きによる地層のでき方について、器具を正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		
			98～100	・水の働きによる地層のでき方や特徴について、まとめる。	2	・実験結果を基に、流れる水の働きによる地層のでき方について考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。 ・土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解しているかを確認する。	○	○		発言 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	変わり続ける大地	地震や火山の噴火と大地の変化	101 102	・火山の働きによる地層のつき方を写真や資料で調べ、まとめる。	1	・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
			106 ～ 111	・地震や火山の噴火による大地の変化について調べる。	2	・地震や火山の噴火による大地の変化について調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、調査結果などを互いに伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを確認する。 ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解しているかを評価する。	○		○	行動観察 発言 記述分析		
			112 ～ 115	・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えについて、調べたり、考えたりする。	1	・地震や火山の噴火による災害や災害に対する備えについて調べる活動に進んで取り組み、友達と協力して調べたり、考えを互いに伝え合ったりしながら、粘り強く問題解決しようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
			116 ～ 119	・資料を読んで、地震に関係する言葉の意味や、過去の記録から学んだり後世へ伝えたりする取り組みを知る。	1	地震や火山の噴火による大地の変化とそれらによる災害について学んだことを生かして、災害から生命を守るために自分にできることについて考えようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
		単元テスト		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		てこのはたらき	120 ～ 122	・1本の棒を使って重い物を持ち上げる活動を行い、どのようにすれば楽に持ち上げることができるかについて問題を見いだす。	1	・1本の棒を使って重い物を持ち上げる活動を行う中で気づいたことや疑問に思ったことから、差異点や共通点を基に、おもりを楽に持ち上げる方法について問題を見だし、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・ふりこのきまり(小5)	・仕事とエネルギー(中3)
			123 ～ 125	・てこを使っておもりを持ち上げ、手応えを調べる。 ・小さい力でおもりを持ち上げることができるのはどのようなときか考え、まとめる。	2	・小さい力で重い物を持ち上げるにはどうすればよいかについて、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。 ・力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わることを理解しているかを評価する。	○			行動観察 発言 記述分析		
11	てこのはたらき	てこが水平に	126	・てこが水平につり合うときのきまりについて問題を見いだす。	1	・てこを使っておもりを持ち上げ、手応えを調べる中で気づいたことや疑問に思ったことから、てこが水平につり合うときのきまりについて問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			126 127	・てこが水平につり合うときにはどのようなきまりがあるのか調べる。	1	・てこが水平につり合うときのきまりについて、実験用てこなどを正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。	○			行動観察 記述分析		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
12	電気と私たちの暮らし	電気をこつくり合うとき	128 129	・実験結果を基に、てこが水平につり合うときのきまりについて考え、まとめる。	1	・実験結果を基に、てこが水平につり合うときのきまりについて考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			130	・てんびんについて捉え、上皿てんびんで物の重さを比べたり量ったりする。	1	・てこの働きについて学んだことを生かして、てんびんの仕組みについて考えようとしているかを確認する。			○	行動観察 発言		
			131 ～ 135	・てこを利用した道具は、どのような仕組みになっているのか調べる。	1	・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることについて理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
			単元テスト	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		電気をこつくる	136 ～ 138	・町の様子の絵を見て、電気はどのように作られたり利用されたりしているかを考え、電気と自分たちの暮らしとの関わりについて問題を見いだす。	1	・教科書P.136～137のイラストを見たり、生活経験を想起したりする中で気づいたことや疑問に思ったことから、電気と自分たちの暮らしとの関わりについて問題を見いだし、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・電流がうみ出す力(小5)	・電磁誘導と発電(中2) ・電気とその利用(中2) ・エネルギーとエネルギー資源(中3)
			139 ～ 141	・手回し発電機や光電池で電気を作り、作った電気を利用する。また、手回し発電機の回し方や光電池への光の当て方によって発電の様子がどのように変わるかを調べる。	1	・手回し発電機や光電池などを正しく扱いながら、電気を作ったり、作った電気を利用したりして、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
		電気の利用	142 ～ 144	・つくった電気をコンデンサーにため、ためた電気を何に変えて利用できるかを調べる。	2	・ためた電気を何に変えて利用できるかについて、コンデンサーや手回し発電機などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを評価する。 ・電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解しているかを確認する。	○			行動観察 発言 記述分析		
		電気の有効利用	145 146	・実験結果を基に豆電球と発光ダイオードの特徴を捉え、まとめる。	1	・既習の内容や生活経験を基に、電気を効率的に利用するための工夫について考え、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを評価する。		○		発言 記述分析		
			147	・電気を効率的に使うための工夫について考え、まとめる。	1	・身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
			148 149	・人が近づくと明かりがつき、しばらくすると消えるプログラムを作り、明かりをつけたり消したりする。	4	・電気を効率よく使うためのプログラミングに進んで取り組み、粘り強く、友達の意見も参考にしながら、目的どおりのプログラムを完成させようとしているかを評価する。 ・電気の変換について学んだことを生かして、電気を効率よく使うためのプログラミングについて考えようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1		電気を利用した物をつくらう	150	・これまでに学んだことを生かして、電気を利用した物を作る。	2	・電気を利用した物について、自分の目的を基に、完成させるために必要な材料や方法を発想し、表現しているかを評価する。 ・電気を利用したものづくりの活動に進んで取り組み、友達の意見も参考にしながら、粘り強く目的の物を完成させようとしているかを評価する。		○	○	行動観察 発言 記述分析		
			151～153	・電気の働きや利用について、学んだことをまとめる。	1	・発電や蓄電、電気の変換、電気の利用について理解しているかを評価する。	○			発言 記述分析		
			単元テスト	・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
		テスト期末		・既習事項の定着を図る。	1		○	○		テスト		
	水溶液の性質とはたらき	水溶液にとけている物	154～156	・食塩水、石灰水、アンモニア水、塩酸、炭酸水にはどのような違いがあるか予想し、違いを調べる方法を考える。	1	・水溶液の違いを調べる実験について、自分の予想を基に、解決の方法を発想し、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析	・物のとけ方(小5)	・水溶液(中1)
			156 157	・5種類の水溶液の違いを調べる。	2	・水溶液の違いについて、調べる器具などを選択して、器具や水溶液などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
			158	・実験結果を基に、水溶液には固体が溶けている物があることをまとめる。	1	・実験結果を基に、水溶液に溶けている物について考察し、より妥当な考えをつくりだして、表現しているかを確認する。		○		発言 記述分析		
			159 160	・炭酸水には二酸化炭素が溶けていることをまとめる。	1	・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解しているかを確認する。	○			発言 記述分析		
		水溶液のなかま分け	161	・リトマス紙を使って、水溶液をなかま分けする。	1	・水溶液の性質について、リトマス紙などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
			162 163	・身の回りのいろいろな水溶液をリトマス紙につけて、性質を調べる。	1	・水溶液の性質について学んだことを生かして、身の回りの水溶液の性質を調べようとしているかを評価する。			○	行動観察 発言		
		水溶液	164～166	・水溶液には金属を変化させる働きがあるか予想し、金属に塩酸や水を注ぐとどうなるかを調べ、まとめる。	2	・水溶液が金属を変化させる働きについて、水溶液などを正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○			行動観察 記述分析		
			167 168	・塩酸に溶けた金属はどうなったのか予想し、調べる方法を考える。 ・塩酸にアルミニウム(または鉄)が溶けた液を蒸発させて、溶けた金属を取り出すことができるか調べる。	2	・塩酸に溶けた金属はどうなったのかについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、表現しているかを確認する。 ・塩酸に溶けた金属について、調べる器具などを選択して、正しく扱いながら調べ、得られた結果を適切に記録しているかを確認する。	○	○		行動観察 発言 記述分析		

